



不安定な組織と安定した組織の特徴





不安定な組織と安定した組織の
違いはルールがあるかどうか？



◆ 不安定な組織 = 統一されたルールがない

ルールがない組織の特徴① 従業員同士の問題が頻発する①

問題が頻発してしまう理由

一人一人育った環境が異なれば価値観も違うから
それぞれの正義がぶつかり問題が発生する

ルールがない組織の特徴② 採用時に提示できない

すべてが後付になる
入社時と入社後の変化に不満が募りやすくなる

その結果として、離職が増え、組織として不安定になる



◆ **安定した組織 = 統一されたルールが細かく決められている**

ルールがある組織の特徴① 従業員同士の問題が起きにくい

個人の正義とは別に、会社としてのルールがあるため、スタッフ同士の正義がぶつからない
問題が起きたとしても会社のルールがあるため、軸がブレずに迅速平等に解決ができる

ルールがある組織の特徴② 採用時に提示できる

「会社のルールを守ります」と約束した人だけを採用できる
入社後、ルール違反があったら「入社時提示した条件（=会社のルールを守る）を
破りました、行動を改めルールに従うか、会社を去るか選んでください」と言える

問題が起きにくく、約束を守る従業員で構成された組織は安定する



まとめ

- 良い組織 = 会社にとって都合の良い組織
会社の都合とは組織のルール
- 良い人材 = ルールを守れる存在